

## 組立説明書

このたびはコイズミ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
 この組立説明書をよくお読みのうえ、安全に正しく組立してください。  
 ご使用のまえには取扱説明書をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。  
 保証書はお買い上げ日、販売店名の記入を確認し、組立説明書といっしょに大切に  
 保管してください。

### 安全上のご注意（必ずお守りください）

- 取り扱いを誤った場合に想定される危害・損害の程度を示しています

 <b>警告</b>	「死亡または重傷を負う恐れがある」内容です。
 <b>注意</b>	「傷害を負うまたは物的損害発生の恐れがある」内容です。

- お守りいただく内容を示しています

 <b>禁止</b>	「行ってはいけない」内容です。
 <b>必ず守る</b>	「行わなければならない」内容です。

### 注意

- 組立および設置時の注意

 <b>必ず守る</b>	組立、設置、移動は2人以上で行ってください。移動する時は引きずらず持ち上げて運んでください。 →ケガをしたり、破損したり、建物の内装を傷つける恐れがあります。
 <b>禁止</b>	組立および解体に電動ドライバーは使用しないでください。 →ボルト頭がつぶれて締め付け、取り外しができなくなる恐れがあります。
 <b>必ず守る</b>	水平で平滑な床面に設置してください。 →不安定な場所に設置すると、がたついたり転倒や引出しの開閉に支障が出る恐れがあります。
 <b>禁止</b>	説明書に記載されている組立パターン以外の組立や改造等はしないでください。 →破損してけがをする恐れがあります。
 <b>必ず守る</b>	転倒防止金具が付属されている書棚等を単独で使用する場合、必ず転倒防止金具を使って書棚を壁 または柱などへ固定してください。 →転倒して破損したり、けがをする恐れがあります。
 <b>禁止</b>	直射日光のあたる場所やヒーター、エアコンなどの温風が直接あたる場所への設置はおやめください。 →変形、変質、退色の原因となります。
 <b>必ず守る</b>	組立のパターンによって使用しない部品や部材が残る場合があります。 →紛失しないよう大切に保管してください。

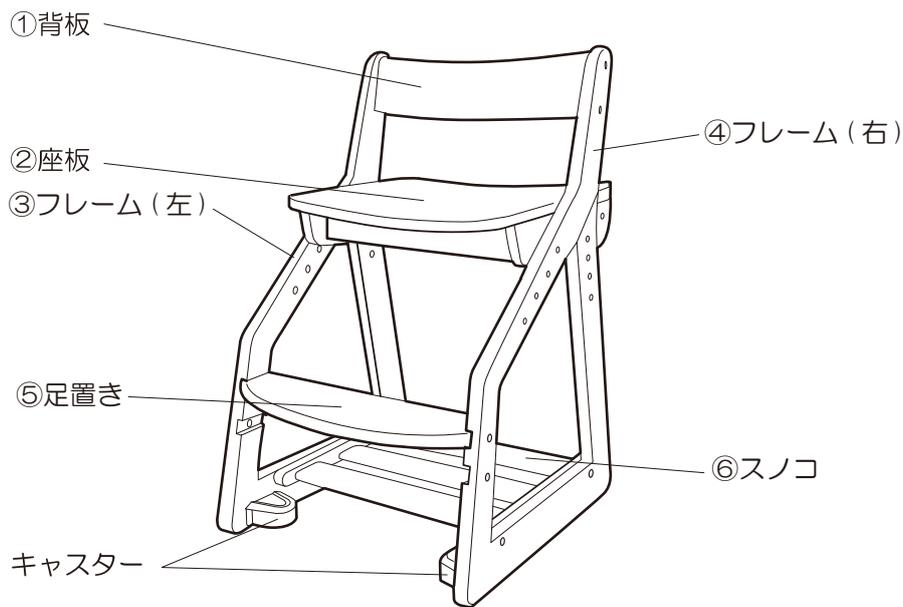
- 天然木の製品は木目柄、色に多少のばらつきがあります。  
 このため展示品とお届け品では木目柄、色が異なる場合があります。

## 木製椅子

【品番】

- KDC-361 WW LP
- KDC-461 MO WH
- CDC-601 WW
- KDC-362 WW LB
- KDC-462 MO DB
- CDC-602 MO
- KDC-363 WW PR
- KDC-463 WT BK
- CDC-603 NS
- KDC-364 PW LP
- CDC-604 WT
- KDC-365 PW PR

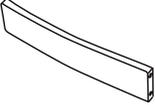
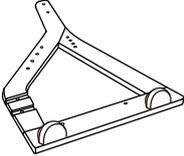
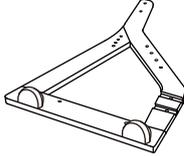
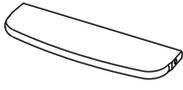
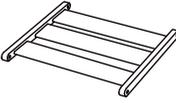
# 各部の名称



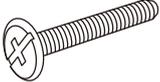
## 付属品について

※開梱後以下のパーツ・組立部品が入っているか確認してください。

### ■パーツ

①背板	②座板	③フレーム(左)	④フレーム(右)	⑤足置き	⑥スノコ
					
×1	×1	×1	×1	×1	×1

### ■組立部品

⑦ボルト(M6×30mm)	⑧袋ナット
KSK6BJ630 KSK6BU630	FNR3JN12N FNR3JN12B
	
×14	×8

⚠ 小さな部品の取扱いには、十分ご注意ください。  
→ お子様が飲み込むことがあります。

※枠内の9桁表記は、部品品番となります。

※下段が603、604、463用、上段が他品番用の部品品番となります。

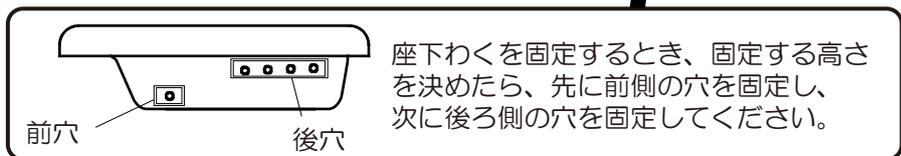
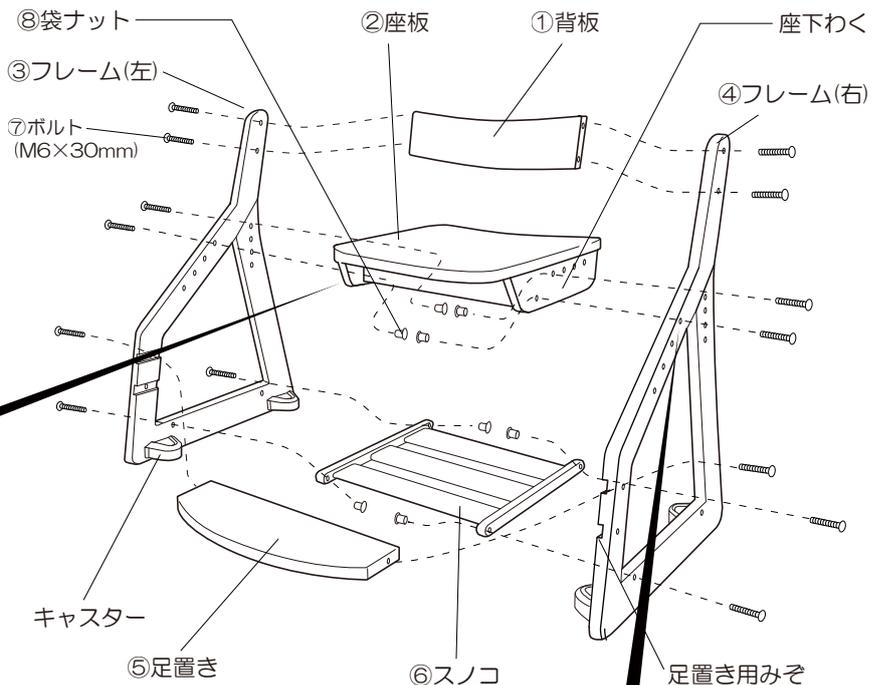
# 組立方法

- ① 左右のフレームとスノコの図のようにボルト4本と袋ナット4個で仮組してください。  
(この時フレームのキャスターが内側に来るようにしてください。)
- ② ①で組んだ左右のフレームの上部に、背板をボルト4本で仮組みしてください。
- ③ 左右のフレームと座下わくを図のようにボルト4本と袋ナット4個で下記の適応身長を参考にしめ付けてください。



(このとき、足置き用のみぞと座板の向きが図のようにセットされているかを確認のうえ、取り付けてください。)

- ④ 足置きを下記の適応身長を参考に足置き用みぞに差し込み、ボルト2本でしめ付けてください。
- ⑤ 最後に水平な場所で、全てのボルトをしっかりしめ付けて固定してください。



# 各部の調節方法

- 座面の高さ  
座板用取付穴のボルトの付け替えにより、4段階に調節できます。  
また、高さと同時に座面奥行きがお子様の体型や成長に合わせて調節できます。  
(レザー座面高さ：527mm・497mm・467mm・437mm)  
(木製 座面高さ：505mm・475mm・445mm・415mm)

① 高さ調節するときは座板がほぼ水平であることを確かめてからボルトを固定してください。  
→ けが・破損の原因になります。

- 足置きの高さ  
取付穴のボルトの付け替えにより、2段階で調節できます。

座面高さ 527mm(505mm)	: 適応身長 105~118cm
座面高さ 497mm(475mm)	: 適応身長 119~132cm
座面高さ 467mm(445mm)	: 適応身長 133~146cm
座面高さ 437mm(415mm)	: 適応身長 147cm~以上

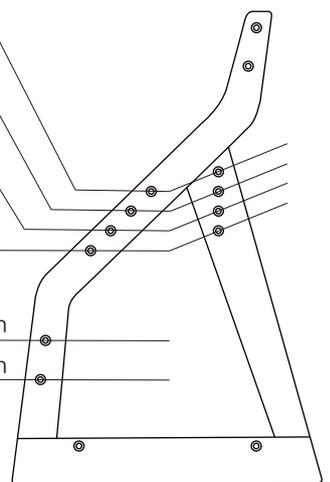
※( )内の寸法は木製座面の高さです。

〈お願い〉表記してある適応身長は、あくまでも目安ですので、実際に座って確認の上、調節していただきますようお願いいたします。

※図は共通のため実物と異なる場合があります。  
※座面高さは機種により10mm程度異なる場合があります。

足置き(上)：適応身長 105~125cm
足置き(下)：適応身長 126~146cm

※身長が147cm以上のかたは足置きなしでご使用ください。



# 使用方法

- キャスターについて  
キャスターは体重がかかると沈み込み、椅子が動かない状態になります。椅子を動かすときは椅子に荷重がかかっていない状態で動かしてください。  
※お子様の体重が軽いと完全に沈み込まないときがあります。

# memo

A series of horizontal dashed lines for writing.